

# 平成28年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



## HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・平成28年、東京都に新たに報告されたHIV感染者とAIDS患者の総計は464件であった。
- ・HIV感染者は前年から3件、AIDS患者は前年から26件増加した。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者が約36%、AIDS患者が約22%であった。
- ・HIV感染者とAIDS患者の総計を国籍別、性別で見ると、日本国籍男性の割合が最も高く全体の約83%であった。
- ・推定感染経路では、HIV感染者の約91%、AIDS患者の約81%が性的接触であり、いずれにおいても同性間性的接触の占める割合が最も大きい。
- ・年齢別にみると、HIV感染者報告数は20歳代と30歳代が多く、AIDS患者報告数は40歳以上が約50%以上を占める傾向が続いている。
- ・推定感染地は、国内感染が約80%を占めた。
- ・ニューモシスティス肺炎の発症を契機とするAIDS患者報告が多く、AIDS患者報告数の約61%を占めている。



## 相談・検査・療養体制

- ・平成28年、エイズ電話相談件数は、過去10年のうちで最も少なかった。
- ・「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談者は、性別では男性、年齢では30歳代が最も多く、次いで20歳代が多い。相談内容は、感染不安や感性経路に関するものが多い。
- ・平成28年のHIV検査件数は、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所、東京都南新宿検査・相談室ともに前年より減少した。また、区保健所、多摩・島しょ地域保健所で、陽性件数、陽性率ともに、前年よりも減少した。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、平成28年は、免疫機能障害による身体障害者手帳交付数は前年より542件増加した。

本「AIDS News Letter No. 165（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成28年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載した。平成19年4月より八王子保健所は八王子市保健所、平成23年4月より町田保健所は町田市保健所となったが、経年比較をするため「多摩・島しょ地域保健所」に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所及び町田市保健所を含む多摩・島しょ地域保健所を合わせて、「都内保健所」と表現した。

また、「東京都エイズ電話相談」は、平成25年4月から「東京都HIV/エイズ電話相談」に名称変更している。

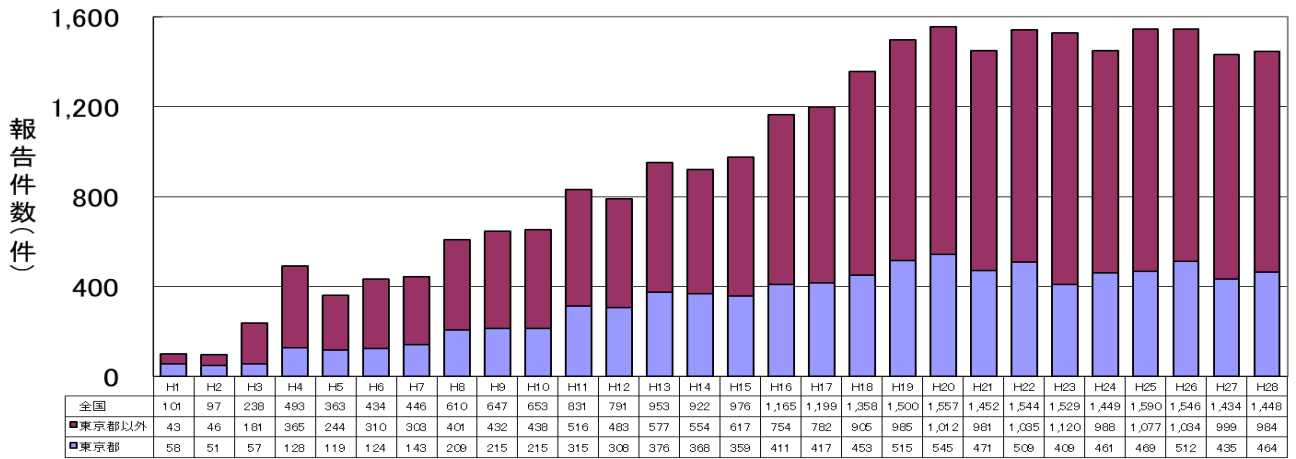
# 目 次

I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
P.3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別報告数年次推移
P.4	1-4	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別報告数年次推移
	1-5	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-6	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
P.5	1-7	HIV感染者とAIDS患者	東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移
P.6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-12	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成28年）
P.7	1-13	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移
P.8	1-16	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-17	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（平成28年）
P.9	1-19	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都のAIDS指標疾患（平成28年）
II 相談・検査・療養体制			
P.10	2-1	HIV/エイズ電話相談	東京都のHIV/エイズ電話相談件数年次推移
	2-2	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別（平成28年）
	2-3	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成28年）
P.11	2-4	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談内容（平成28年）
	2-5	HIV検査	東京都のHIV検査件数年次推移
P.12	2-6	HIV検査	東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
	2-7	医療機関	東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成24年～平成28年）
P.13	2-8	身体障害者手帳	東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移
	2-9	性感染症検査	東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（平成28年）
III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P.14	世界のHIV/AIDS流行状況2016年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2016年末現在（厚生労働省）		

# 1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

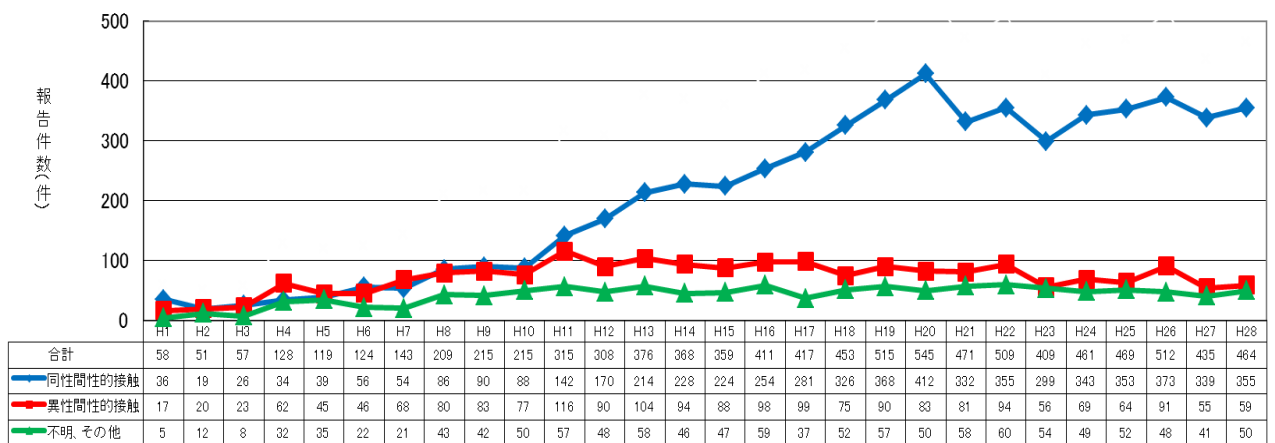
## [ HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS) ]

### 1-1 東京都と全国の報告数年次推移



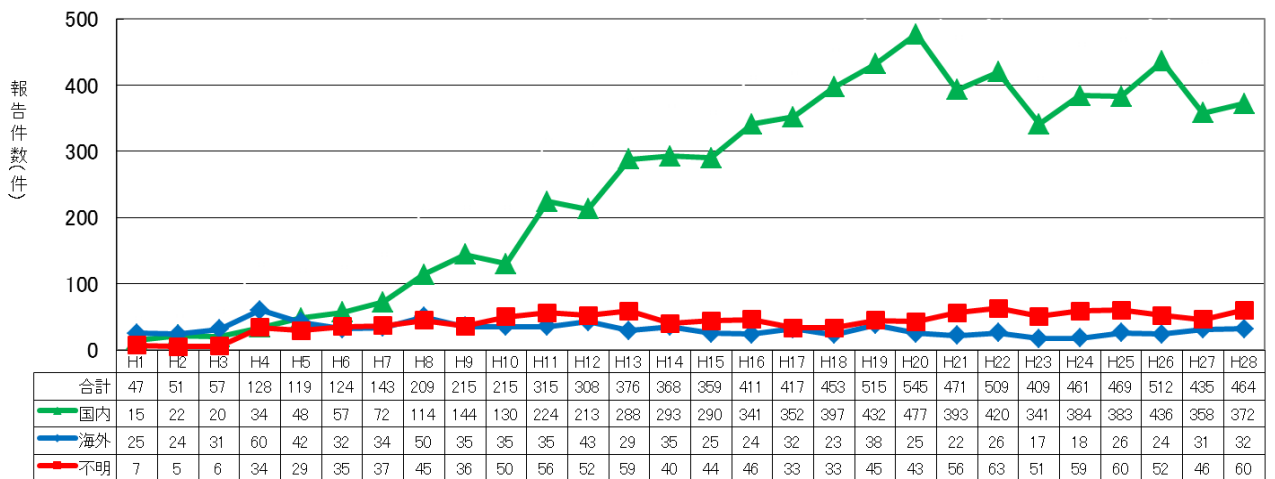
東京都は前年より29件増加し、東京都以外は15件減少した。全国で見ると1,400件から1,500件で推移している。

### 1-2 東京都の推定感染経路別報告数年次推移



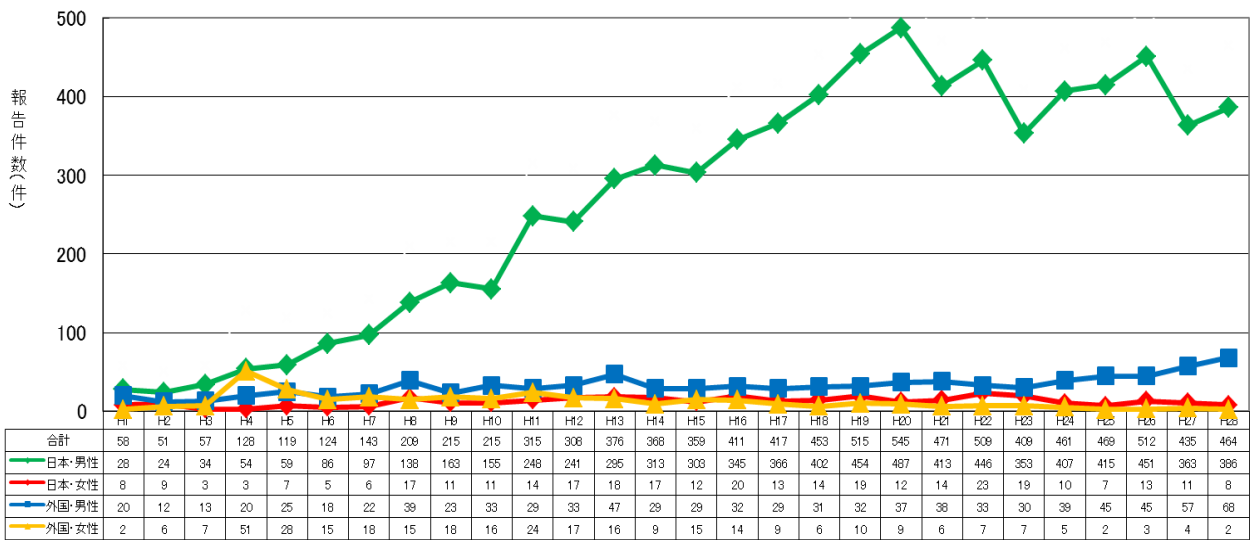
同性間性的接触による報告数は、平成20年の412件をピークに、その後は350件前後で推移している。異性間性的接触は、平成23年以降（平成26年の91件を除いて）は、50件～60件程度で推移している。

### 1-3 東京都の推定感染地別報告数年次推移



推定感染地の報告において、国内の報告数は前年に比べ14件増えた。海外の報告数はこの数年、20件～30件程度で推移している。

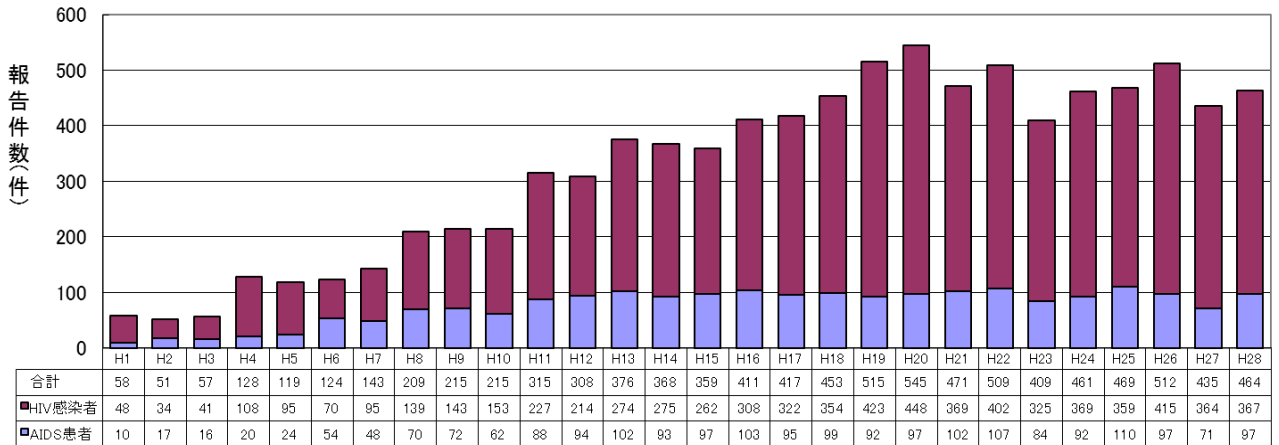
1-4  
東京都の国籍別・性別報告数  
年次推移



日本国籍男性の報告数が、前年より23件増加している。外国国籍男性の報告数は平成23年より増加し、平成28年は68件と過去最多であった。日本国籍女性及び外国籍女性は横ばいである。

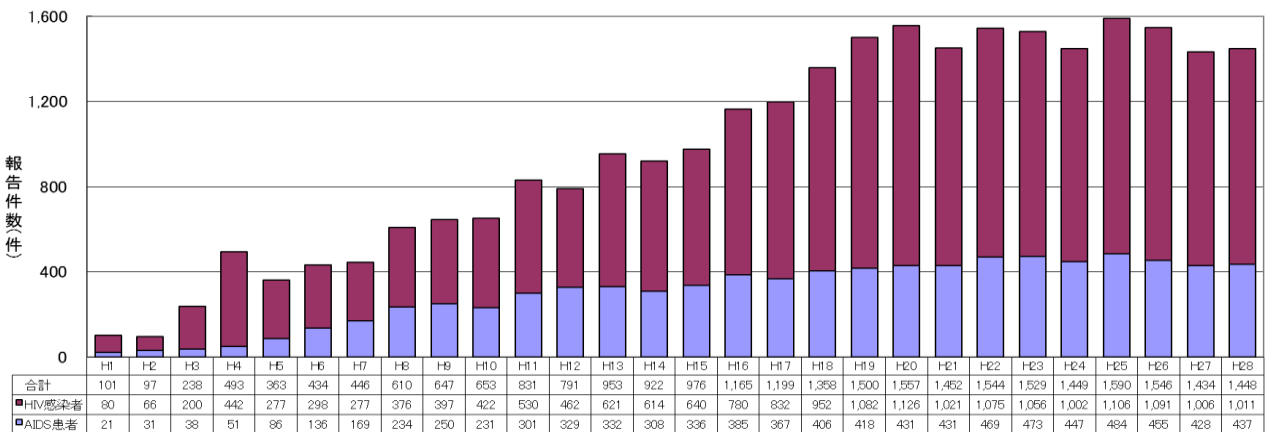
[ HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS) ]

1-5  
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数  
年次推移



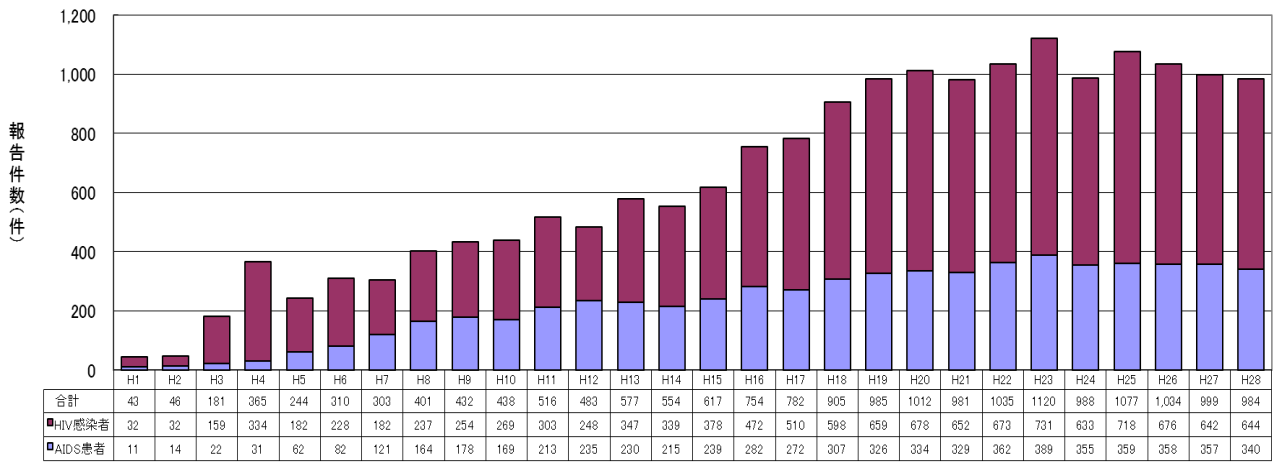
東京都におけるHIV感染者報告数は、前年に比べ横ばいで推移している。AIDS患者報告数は昨年に比べ26件増加している。

1-6  
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数  
年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、平成19年以降1,000件から1,100件程度で推移している。AIDS患者報告数は前年比で9件増加し、報告総数の約3割を占める状況は続いている。

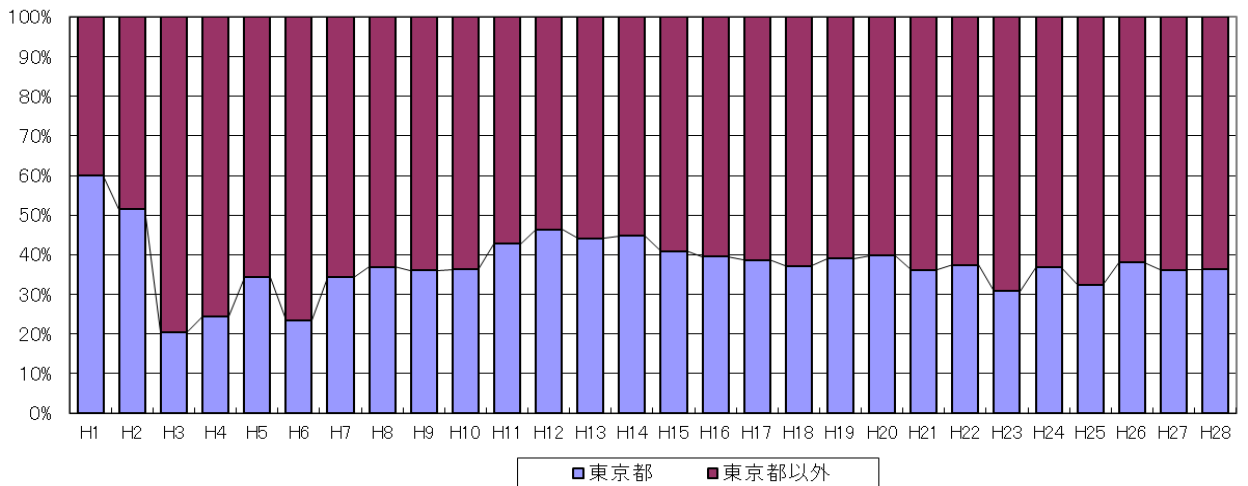
1-7  
東京都以外の  
HIV感染者とAIDS患者  
報告数年次推移



東京都以外においては、平成19年以降、HIV感染者は650~700件程度、AIDS患者は350件前後で推移している。

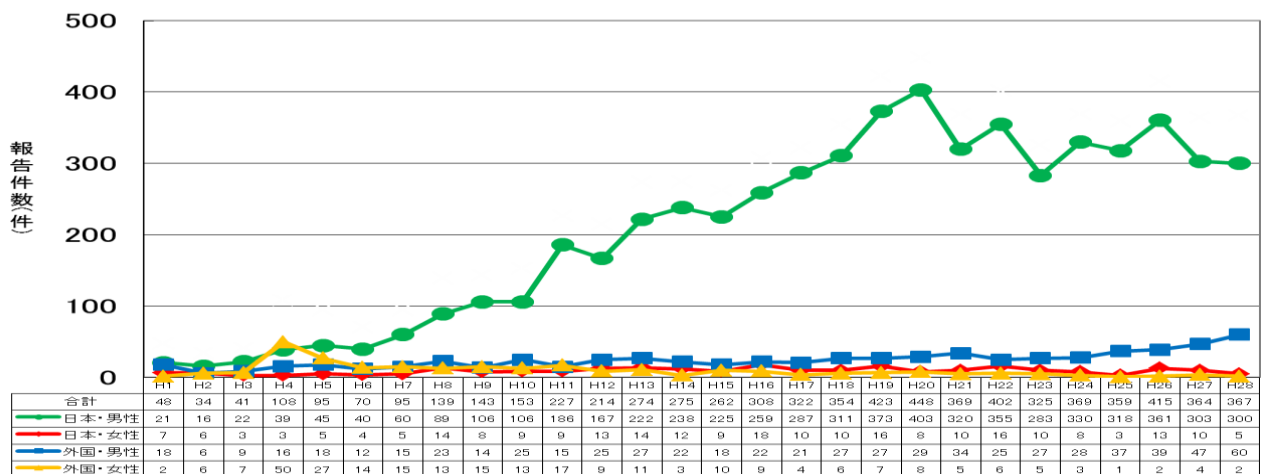
[ HIV感染者 (HIV) ]

1-8  
全国に占める  
東京都の  
HIV感染者  
報告数割合  
年次推移



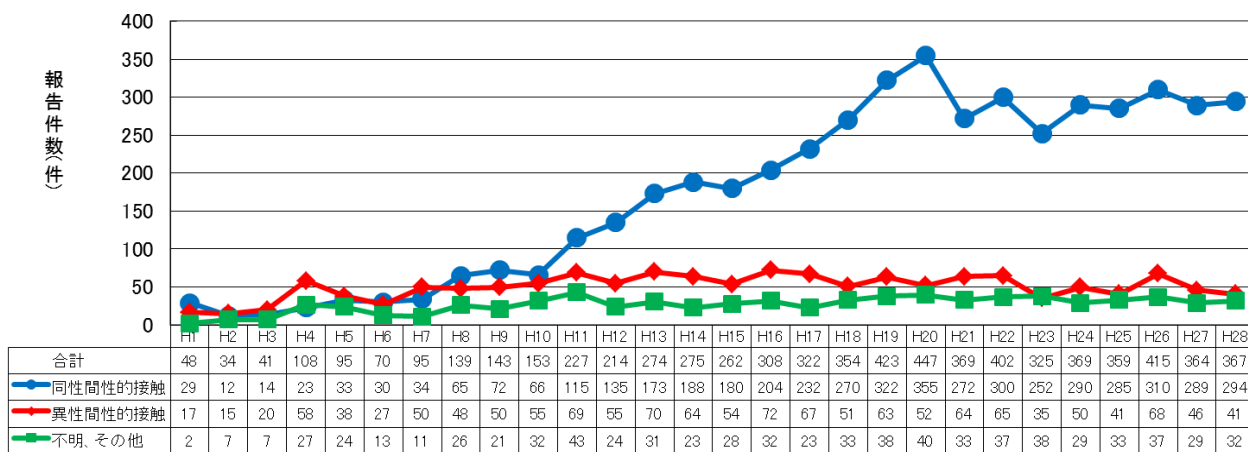
近年、東京都のHIV感染者報告数は、全国の4割弱で推移している。

1-9  
東京都の  
HIV感染者  
の国籍別・  
性別報告数  
年次推移



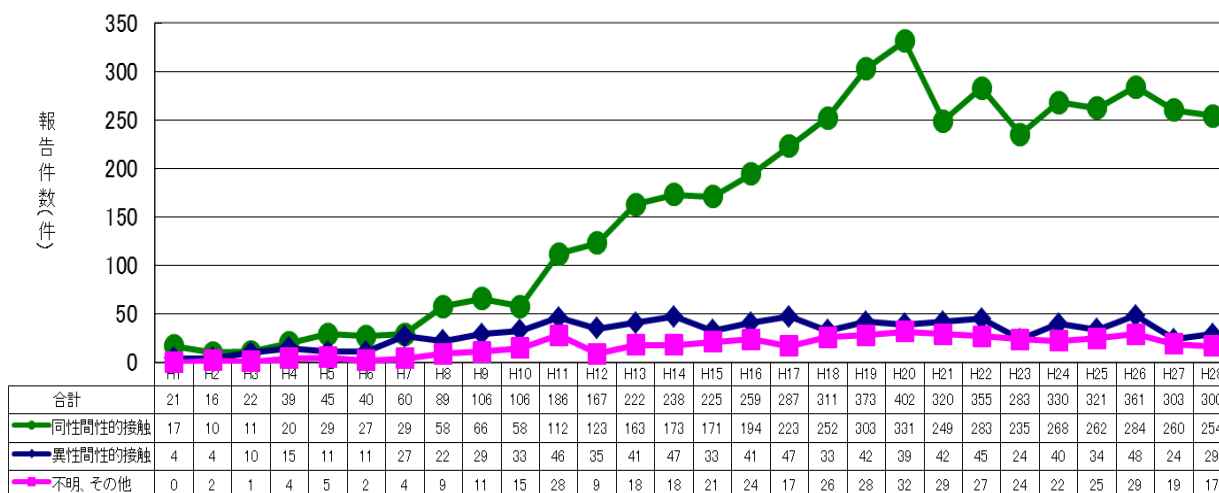
日本人国籍男性の報告数は、平成20年の403件をピークに、その後は300件台で増減を繰り返している。外国籍男性は平成22年より増加し、平成28年は60件と過去最多である。

1-10  
東京都の  
HIV感染者  
の推定感染  
経路別報告  
数年次推移



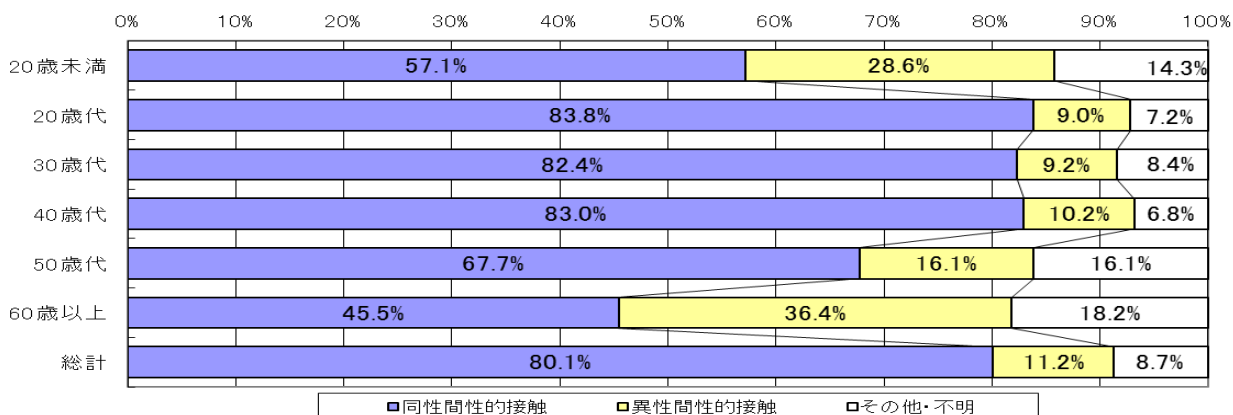
平成16年以降、同性間性的接触の報告数は、平成20年の355件をピークに、その後は300件前後で推移している。異性間性的接触の報告数は平成7年以降50件前後で推移している。

1-11  
東京都の日本国籍男性  
における  
HIV感染者  
の推定感染  
経路別報告



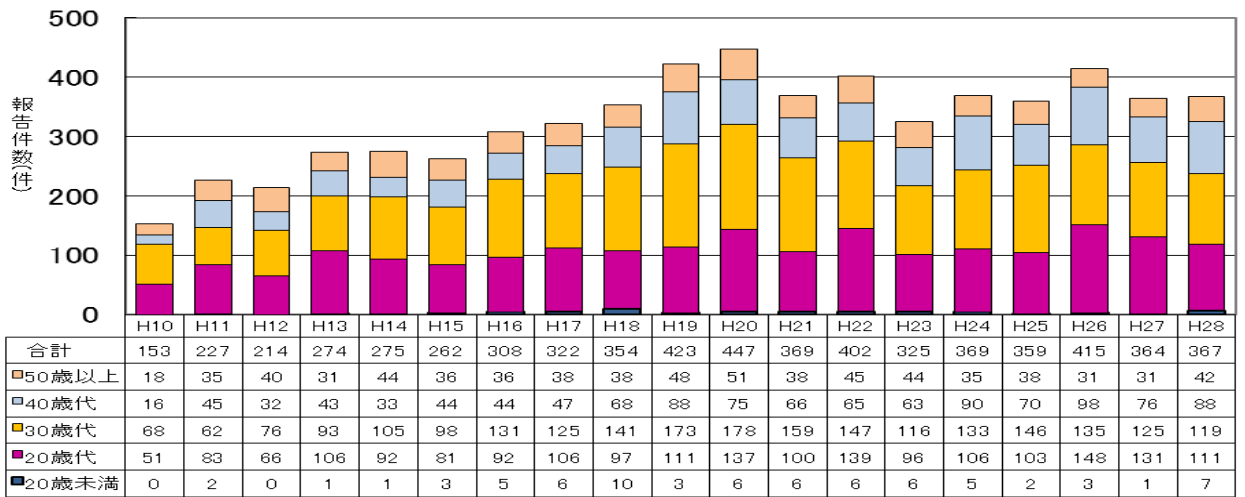
HIV感染者報告数の多い日本国籍男性の感染経路をみると、同性間性的接触の報告数は、平成20年の331件をピークに、その後は200件台で増減を繰り返している。一方、異性間性的接触の報告数は平成7年以降は20件~40件台で推移している。

1-12  
東京都のHIV  
感染者の年  
齢別・推定  
感染経路別  
報告割合  
(平成28年)



同性間性的接触による感染の割合は、20~40歳代においては約80%、50歳代においては70%弱、60歳以上においては約45%を占めている。

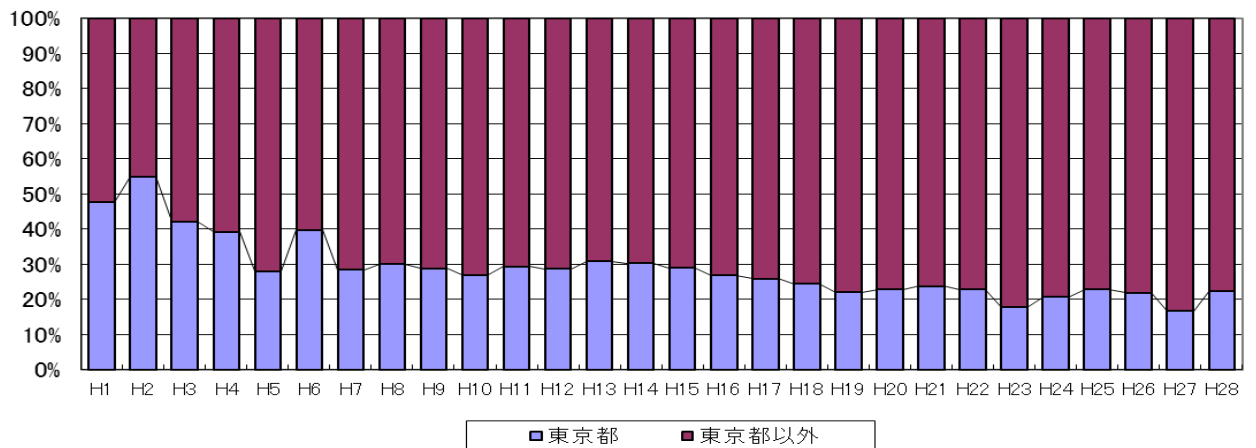
1-13  
東京都の  
HIV感染者  
の年齢別報  
告数年次推  
移



東京都のHIV感染者の年齢階級別報告数において、20歳代、30歳代の報告数が多い。平成28年は前年に比べ、40歳代で12件の増加、50歳以上は11件の増加を認めた。

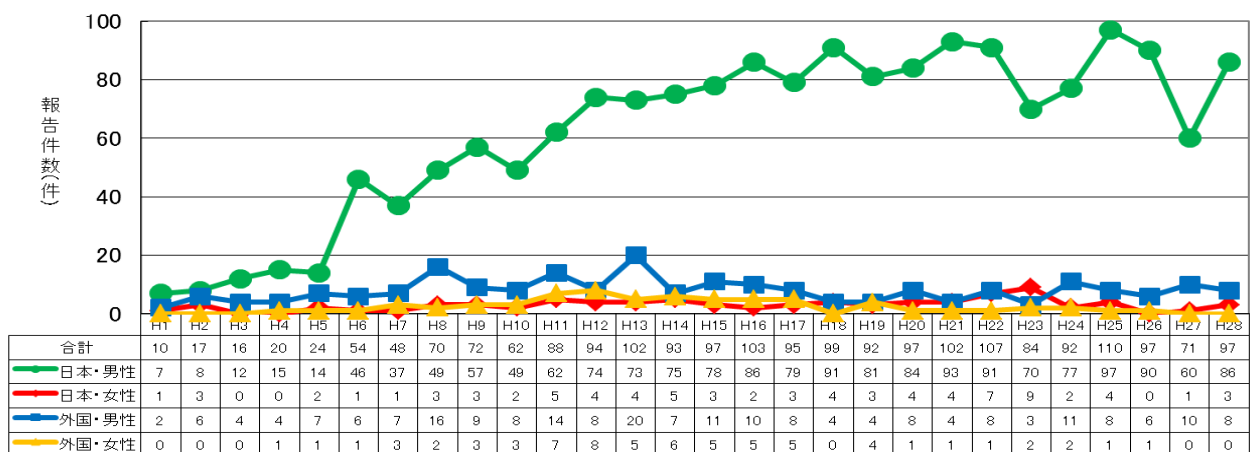
[ AIDS患者 (AIDS) ]

1-14  
全国に占め  
る東京都の  
AIDS患者報  
告数割合年  
次推移



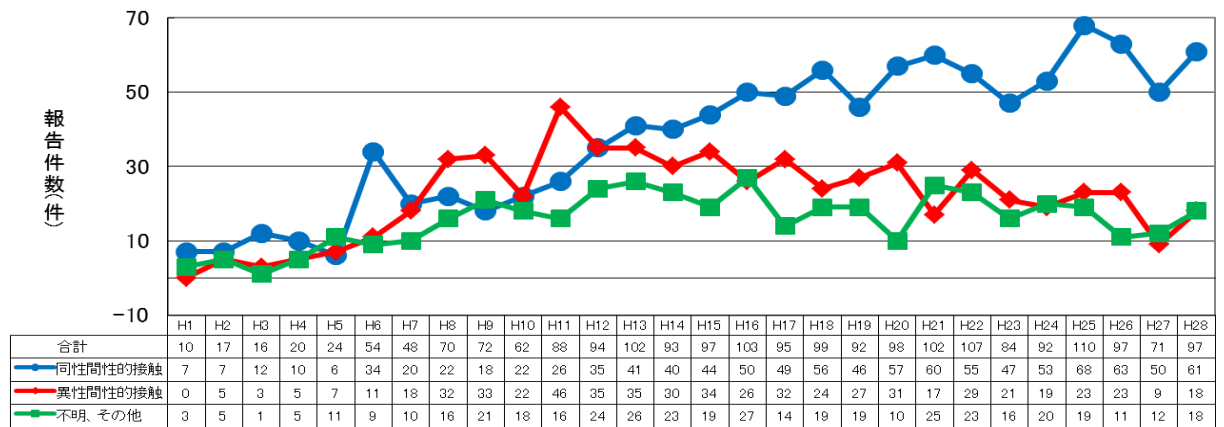
東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の報告数の約20%で推移している。平成28年は前年より26件増えている。

1-15  
東京都の  
AIDS患者の  
国籍別・性  
別報告数年  
次推移



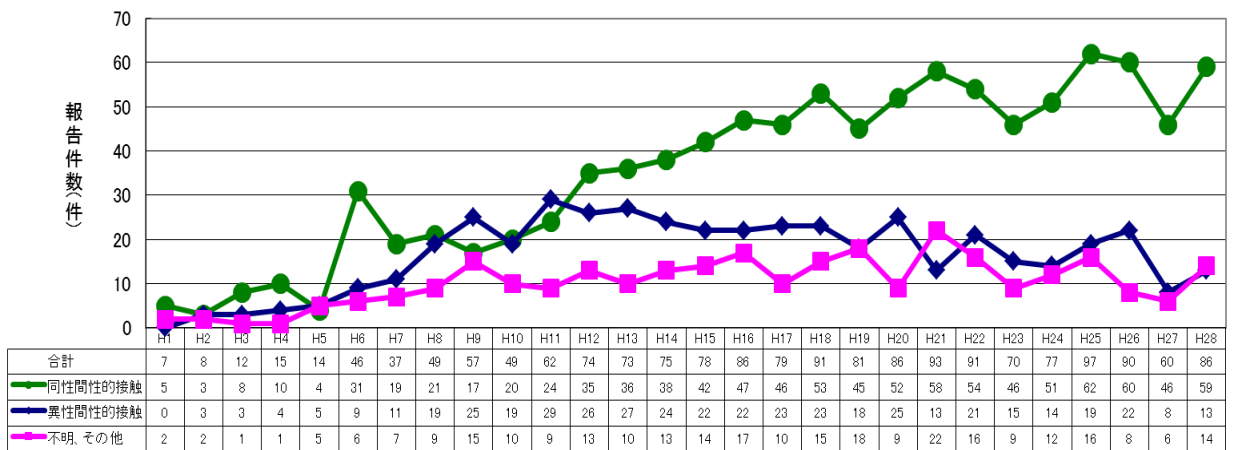
日本国籍男性の報告数は前年に比べ26件増加した。日本国籍女性、外国籍男性、外国籍女性の報告数は概ね変化はない。

1-16  
東京都の  
AIDS患者の  
推定感染経  
路別報告数  
年次推移



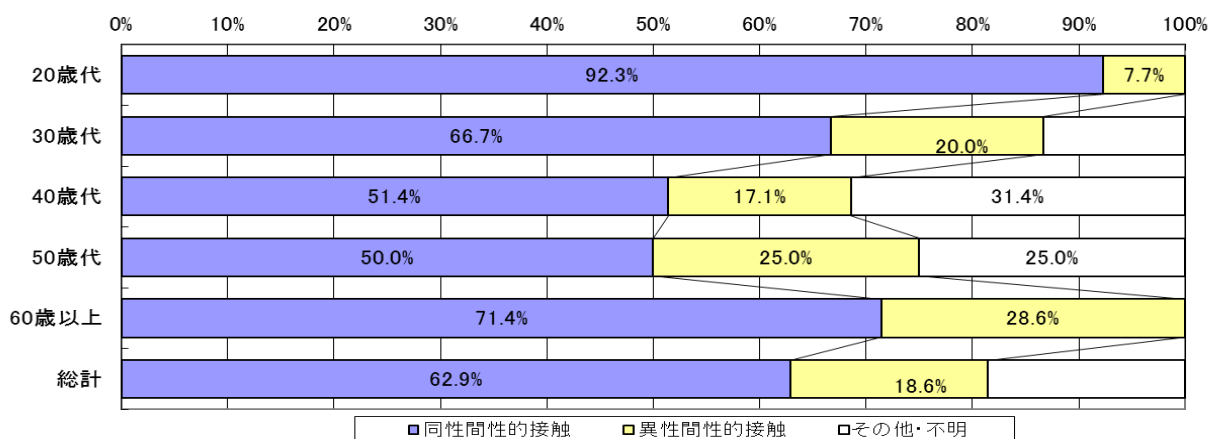
同性間性的接触の報告数は50~60件程度である。異性間性的接触の報告数は平成27年には9件まで減少したが平成28年には再び増加し18件となった。

1-17  
東京都の日本国籍男性  
における  
AIDS患者の  
推定感染経  
路別報告数



日本国籍男性の感染経路をみると、同性間性的接触の報告数は50~60件程度で推移している。異性間性的接触の報告数は平成27年には8件まで減少したが、平成28年には再び増加し13件となった。

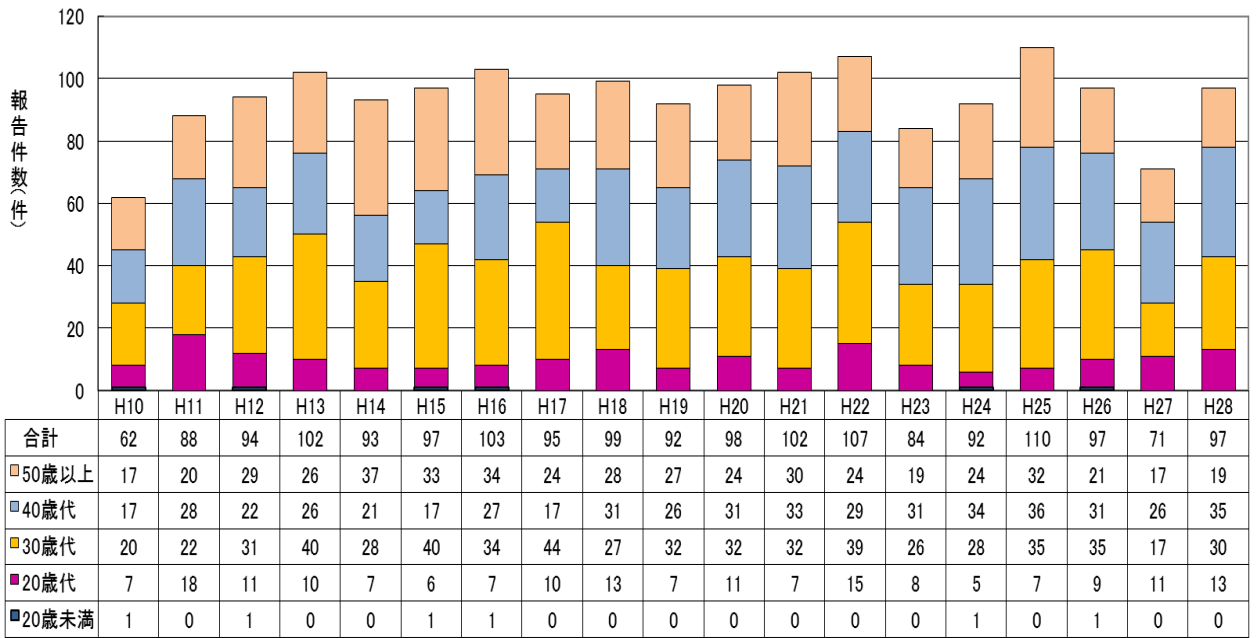
1-18  
東京都の  
AIDS患者の  
年齢別・推  
定感染経路  
別報告割合  
(平成28年)



全ての年代において、異性間性的接触よりも同性間性的接触の割合が大きくなっている。

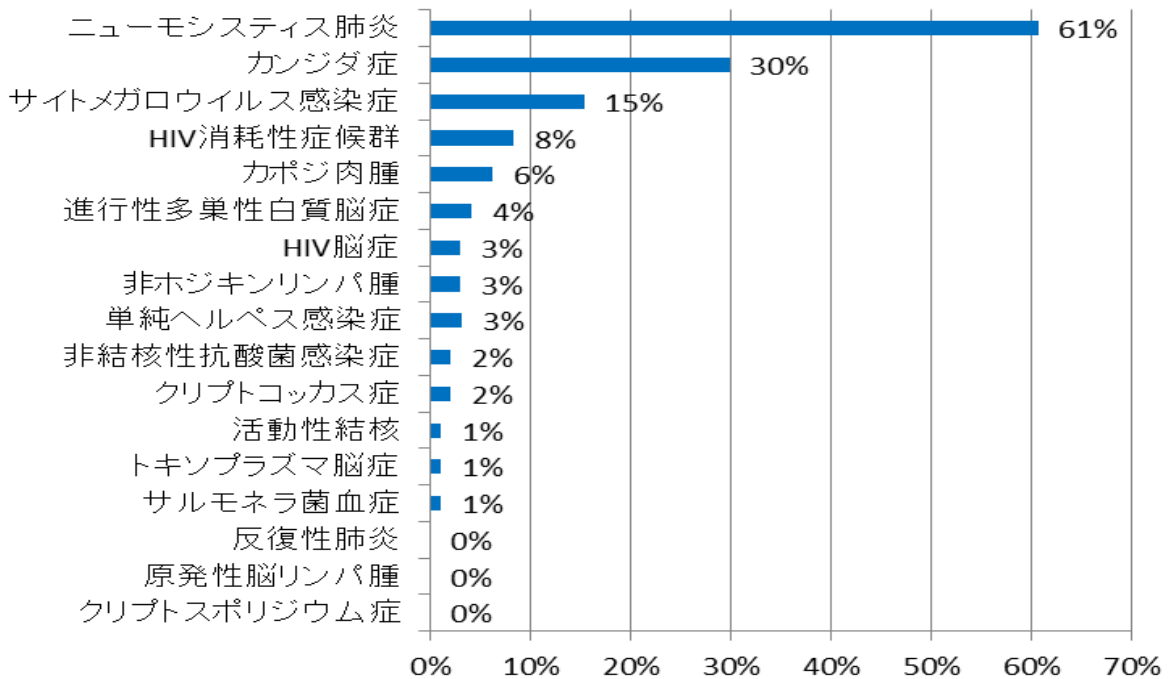


1-19  
東京都の  
AIDS患者の  
年齢別報告  
数年次推移



平成28年も例年同様、30歳代、40歳代の報告件数が多い。

1-20  
東京都の  
AIDS指標疾  
患  
(平成28年)

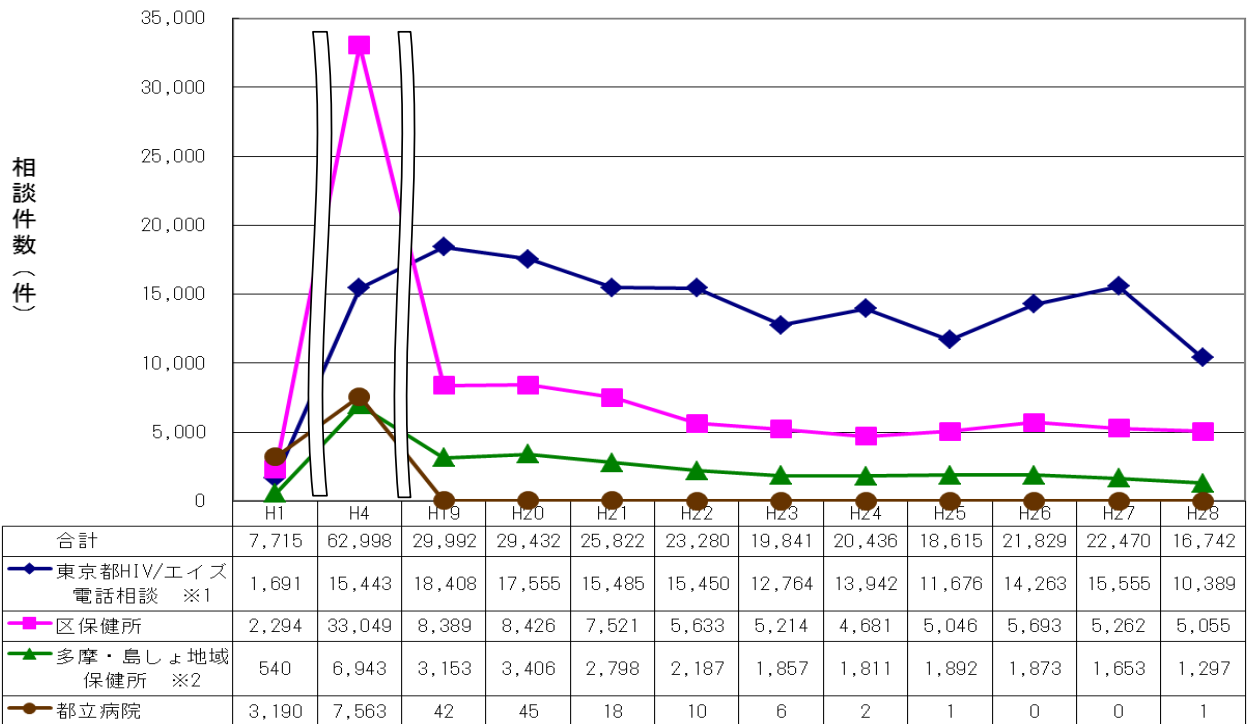


平成28年にAIDSと報告された者の61%がニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いでカンジダ症(30%)、サイトメガロウイルス感染症(15%)、HIV消耗性症候群、カポジ肉腫の順で診断されている。

## 2. 相談・検査・療養体制

### [HIV/エイズ電話相談]

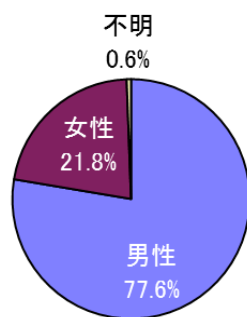
#### 2-1 東京都HIV/ エイズ電話 相談件数年 次推移



※1 平成10年以前の「東京都HIV/エイズ電話相談」件数には、エイズ対策担当で実施していた電話相談の件数を含む。  
 ※2 八王子市（平成19年4月より）、町田市（平成23年4月より）は、保健所政令市となり各市設置の保健所になっているが、経年比較のため、多摩・島しょ地域保健所に含めて計上している。

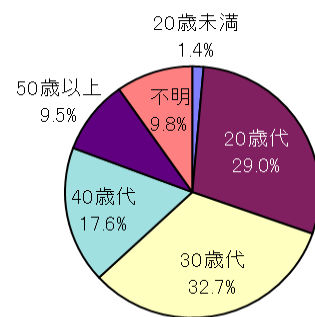
エイズ電話相談は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後減少し、その後は横ばいの状況が続いていた。平成20年以降にやや減少した後、平成27年までは2万件前後で横ばいの状況が続いていた。平成28年は、全体で16,742件と過去最も少ない件数となり、昨年に比べ約25%減少した。

#### 2-2 「東京都 HIV/エイズ 電話相談」 における相 談者の性別 (平成28年)



#### 2-3 「東京都 HIV/エイズ 電話相談」 における相 談者の年齢 (平成28年)

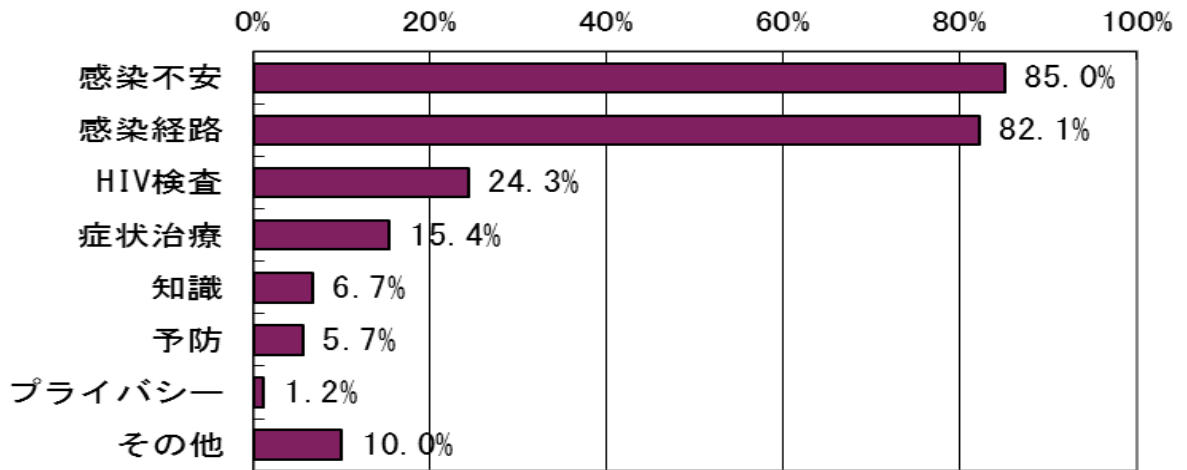
#### <2-3>



性別割合では、男性約8割、女性約2割。昨年と比べ男性の割合が増えている。年齢別に見ると、20歳代・30歳代が多い。30歳代以下の相談者が約6割を占めているが、昨年に比べ、全体に占める割合は減少している。

2-4  
「東京都  
HIV/エイズ  
電話相談」  
の相談内容  
(平成28年)

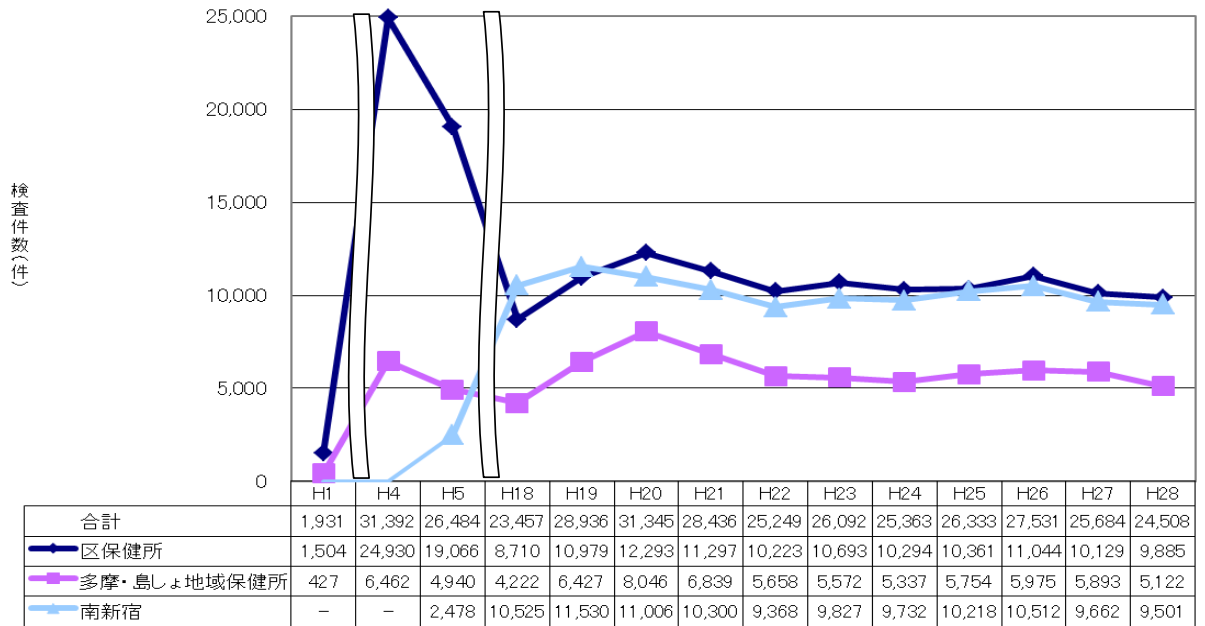
\* 複数回答



東京都HIV/エイズ電話相談の相談内容は、感染不安と感染経路が飛びぬけて多い状況は、ここ数年変わっていない。HIV検査、症状・治療に関する相談割合が昨年より増えた。なお、1回の電話で相談内容が多岐にわたることもあるため、複数回答で計上している。

[HIV検査]

2-5  
東京都の  
HIV検査件  
数年次推移



都内保健所(区保健所、多摩・島しょ地域保健所)の検査件数は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後に減少し、その後横ばいの状況が続いていた。平成15年以降は再び増加していたが平成20年をピークに減少に転じ、平成22年からは約25,000件程度で横ばいで推移していた。平成28年は前年より減少し、25,000件を下回った。

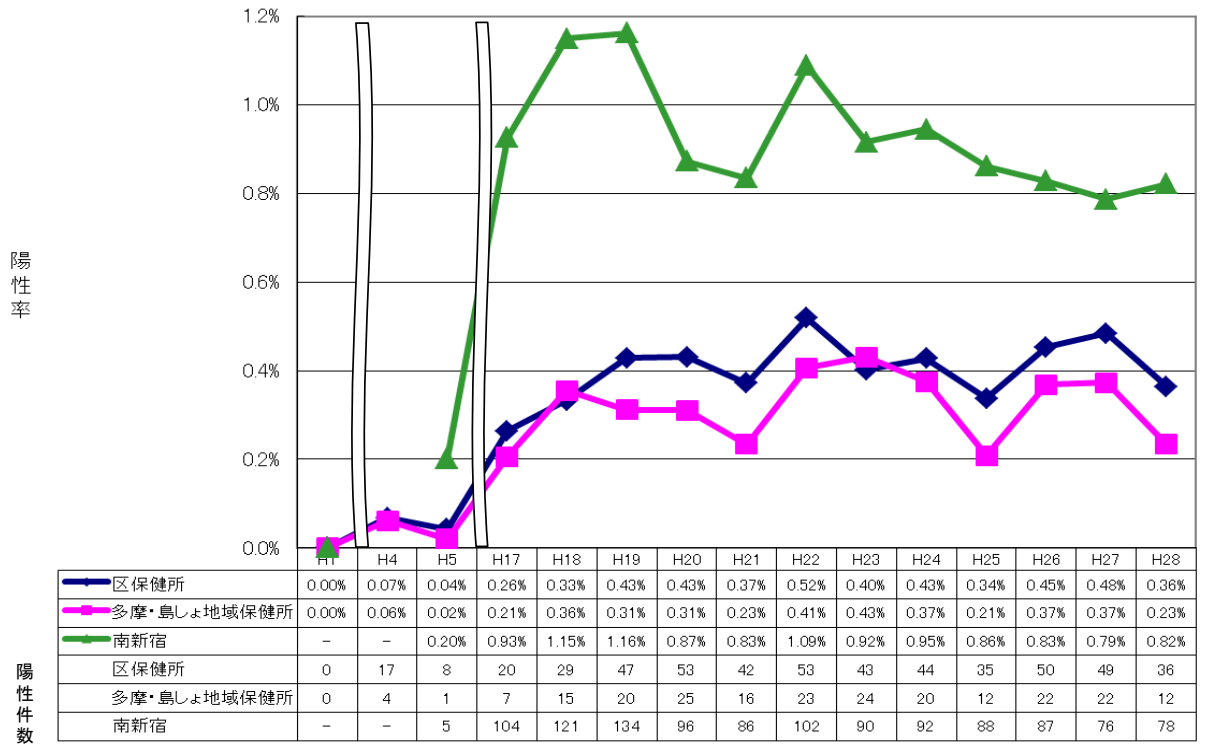
区保健所では、港区での委託検査開始(平成20年)などの動きもあり増加した後、平成21年以降10,000件台で推移していた。平成28年は前年より減少し、10,000件を下回った。

多摩・島しょ地域保健所では、多摩府中保健所での検査開始(平成19年)、多摩地域検査・相談室の毎土曜日実施の定着により増加していたが、平成21年より減少に転じ、5,000件台で推移している。平成28年は前年より減少した。

南新宿検査・相談室の検査件数は、土・日曜日の検査を開始した平成15年より増加し、平成16年からは11,000件前後で推移していた。その後は、平成19年をピークに1万件前後で推移している。平成27年に10,000件を下回り、平成28年はさらに減少した。

平成28年の検査件数合計では、前年比約5%の減少であった。

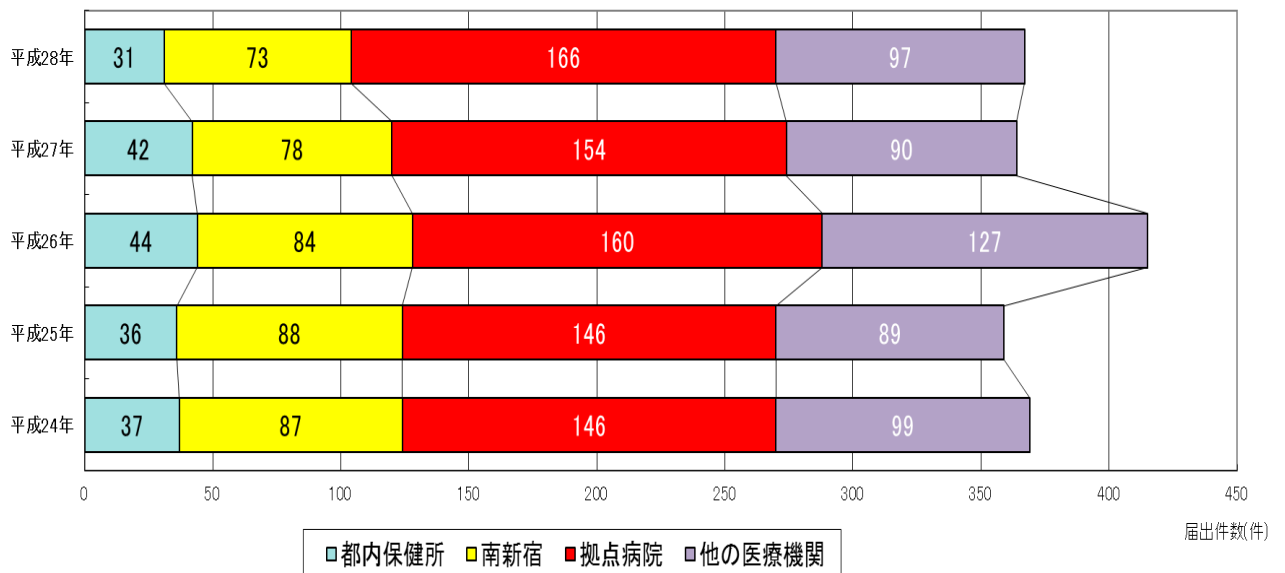
2-6  
東京都の  
HIV検査に  
おける陽性  
件数・陽性  
率年次推移



平成28年は、区保健所、多摩・島しょ地域保健所で、陽性件数、陽性率ともに、平成27年と比べ減少した。南新宿検査・相談室では、陽性件数、陽性率ともに、平成27年と比べ増加した。

[医療機関]

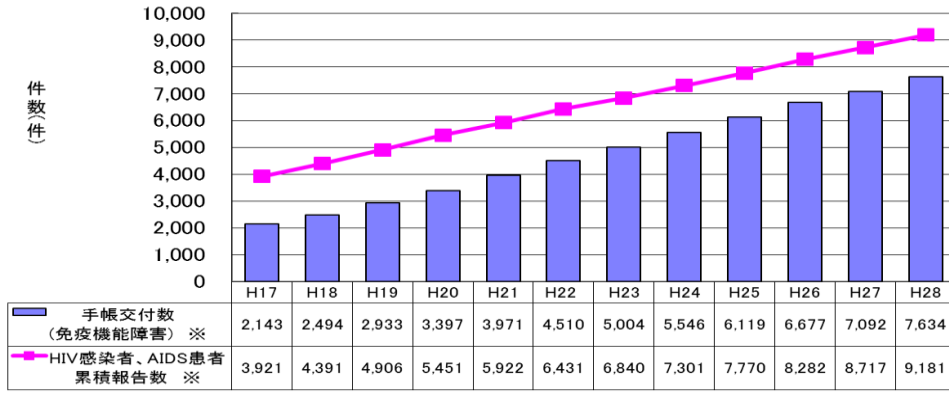
2-7  
東京都の  
HIV感染者  
報告の届出  
別割合  
(平成24年  
～平成28  
年)



平成28年は、拠点病院、他の医療機関からの届出件数が前年と比べそれぞれ約8%伸びた。都内保健所、南新宿検査・相談室からの届出件数は前年に比べて減少した。

[身体障害者手帳]

2-8  
東京都のHIV感染者、AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳(免疫機能障害)交付数年次推移



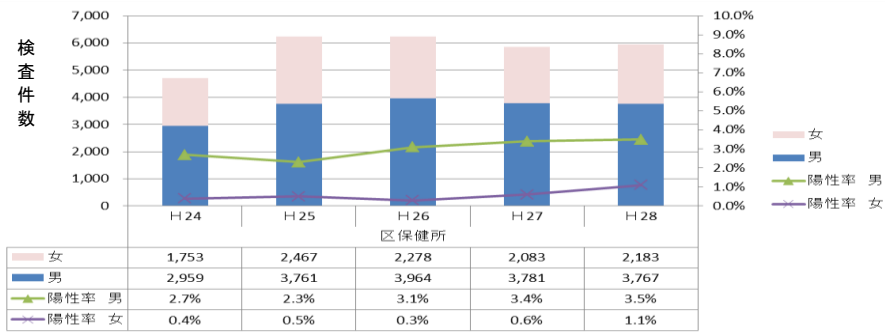
※各年の12月末時点での数値

HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。平成28年は、免疫機能障害による身体障害者手帳交付台帳登録は前年に比べ542件増加した。

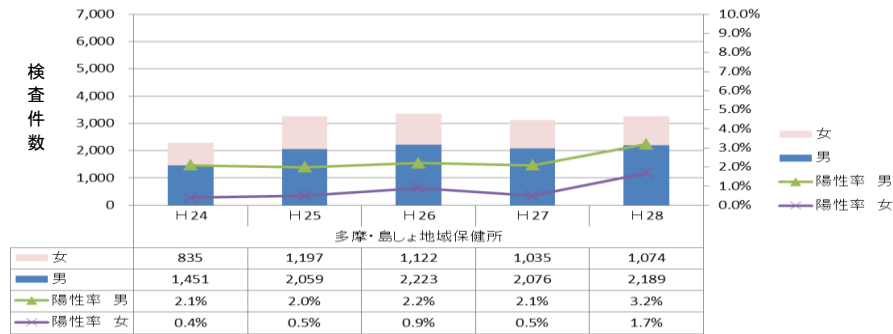
[性感染症検査]

2-9  
東京都の梅毒検査における検査件数と陽性率の年次推移

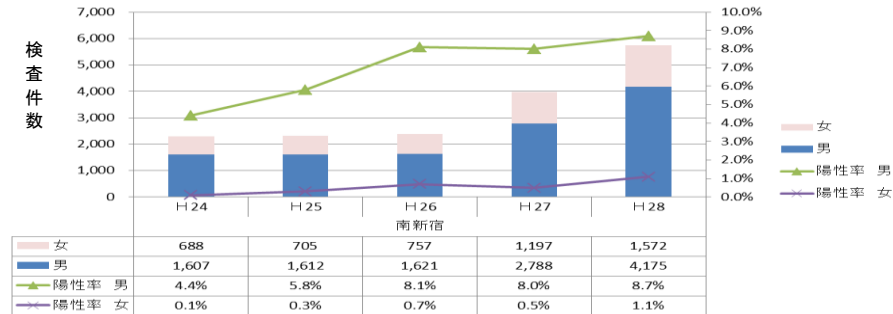
[区保健所]



[多摩・島しょ地域保健所]



[南新宿検査・相談室]



平成28年は、区保健所、多摩・島しょ地域保健所、南新宿検査・相談室すべてにおいて検査件数及び男女の陽性率は、平成27年と比べ増加した。

### 3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2015年末現在 (UNAIDS/WHO)

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2016年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(推計値)

3,670万人 (3,080-4,290 万人)

HIV感染者報告の累計数

19,357人

2015年における新規HIV 感染者数 (推計値)

180万人 (160-210 万人)

AIDS患者報告の累計数

8,676人

2015年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

100万人 (83-120 万人)

実際の数値は推計値の右側 ( ) 内に記載された数値の範囲内に存在する。  
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

#### ★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査(匿名・無料、電話又は携帯からの予約制)

※水・土・日は梅毒検査を同時に実施

ホームページ <http://www.tmsks.jp>

##### 【予約検査】

予約受付番号 03-3377-0811

予約受付時間 月～金(祝日を除く)：午後3時30分から午後7時まで

土・日(祝日を除く)：午後1時から午後4時30分まで

※聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-3377-0821 (予約受付時間は上記と同じ)

#### ★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査(匿名・無料、予約制及び先着順)

##### 【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金(祝日を除く)：午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日(祝日を除く)：午前10時

##### 【先着順検査】

検査受付時間 土曜日(祝日を除く)：午前12時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで)

#### ★東京都HIV/エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

(月～金：午前9時から午後9時まで、土・日・祝日：午後2時から午後5時まで)

※HIV/エイズに関する相談・検査(匿名・無料)は各保健所へ(一部性感染症検査も同時に可)

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策担当

郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4487 ファクシミリ 03-5388-1432 e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp